



公益社団法人

# 広島東法人会報

2015 / 春季号

(第158号)



クロード・モネ「トゥルーヴィル海岸にて」1870年、パリ、マルモッタン=モネ美術館 ©The Bridgeman Art Library

## 「印象派の故郷 ノルマンディー展」

2015年2月28日(土)～2015年4月12日(日)

公益財団法人  
ひろしま美術館  
HIROSHIMA MUSEUM OF ART

# ■1月19日 ANAクラウンプラザホテル 新春講演会と新入会員歓迎名刺交換会

## 〈第1部〉アフラックの創業者大竹氏が講演

今にも泣きだしそうな冬の1月19日、ANAクラウンプラザホテルにて恒例の「新春講演会と新入会員歓迎名刺交換会」が盛大に開催されました。広島東税務署・中国税理士会広島東支部・取扱保険会社三社からのご来賓をお招きし、昨年を上回る157名の参加がありました。

第1部では、アフラックの創業者・最高顧問であります大竹美喜氏に「大竹流経営哲学」という演題でご講演をして頂きました。

大竹氏は法人会の取扱保険会社三社の1つである「アフラックの創業者である」というだけではなく、広島県庄原市のご出身で現在東京広島県人会の会長としてもご活躍をされており、郷土「広島」に対しての思いも交えてお話を頂きました。

アフラックの創業は「愛」と「正義」そして「社会矛盾への挑戦」である事に触れられ、「企業にとって重要なのはその経営哲学を社員一同で共有していく事である」と話されました。また、ご自身の経験や日本を代表する政治家や経営者の方々との交流のエピソードの中で、大竹氏が感じられた様々なお話を聞く事が



できました。

そのお話の中に、企業経営は「心」である、企業は人なり、失敗を恐れない、リーダーとマネージャーの違い等々、挙げきれないほど多くのキーワードが出てくる中味の濃いお話でした。経営者としての心得・条件は参加された皆さんの参考になったのではないのでしょうか。

最後に広島の地は如何に素晴らしいか、日本の経済にとって中小企業が如何に重要かをお話され、それを継続していく重要性を熱く語られた。あっという間の50分間でした。

講演後に講演の原稿が配布されました。この講演の為に万全の準備をして頂いていた事を知り、大変驚きました。

## 〈第2部〉新入会員歓迎名刺交換会

第2部の新入会員歓迎名刺交換会では、本年度の新入会員177社のうち24社が参加されました。ステージ一杯の新入会員へ会員バッジの贈呈を行った後、自己紹介をして頂きました。

懇親の中では会場中で名刺交換が行われ、活気のある異業種交流が行われ、広島東法人会の結束が更に深まった会となりました。 (総務委員 實田泰之)

## 新入会員オリエンテーション

1月19日、ANAクラウンプラザホテルにおいて、新入会員14名が出席し、広島東税務署・取扱保険会社三社からご来賓をお招きし、法人会の基本的指針や沿革、福利厚生の説明、更には税についての説明と充実した2時間を過ごしました。

また、今後の会活動に積極的に参加し、一層の協力することを確認しました。



# 会員増強に向けての 協議会・支部委員会の開催



平成25年度 会員増強表彰 特別優秀賞

8月29日、ANAクラウンプラザホテルにおいて、広島東税務署・中国税理士会広島東支部・取扱保険会社三社からご来賓を多数お招きし、三者連絡協議会が盛大に開催されました。

平成26年度の目標指数、各支部における実施時期、実施方法等について、協議されました。更に、9月～10月において、合同支部委員会を5ブロックで開催し、会員増強の実際の活動方法が支部長を中心に確認されました。

会員増強運動については、地区役員さんのご協力により、良い成果が上がっています。なお一層のご協力をお願いします。



支部委員会のもよう



# 署長講演会

演題 相続税事務に従事してみて



広島東税務署長  
金田 正孝氏

12月3日、リーガロイヤルホテル広島において金田正孝広島東税務署長による講演会が開催されました。

金田署長は、「相続税事務に従事してみて」と題して、相続税の申告状況や相続税の調査状況について講演されました。

講演では、相続税の課税状況や相続税の課税割合の推移・相続税の軽減や猶予の措置、相続財産の構成比について、グラフや分布図を用いながら、遺産総額合計が18年間で25%減少しているなどの例を挙げて、各年度の地価や経済情勢などに応じた変遷を丁寧に説明されました。

また、相続税の調査状況について、平成24年度の調査件数等や申告漏れ財産の状況、近年、重点を置くようになってきている海外資産に対する調査の話のほかに、税務署では、悪質な課税逃れ等への取組を強化しつつ、税務行政の効率化を図る観点から、書面でのお尋ねなどによる「自主的な見直しの呼びかけ」などの調査以外の多様な手法を活用して、適正申告の確保に努めていることなどの説明がありました。

最後に、相続対策に当たっては、相続人間の遺産争いが生じないような分割を考慮した上で、行うことが大切であると話をされました。参加者は87名。



## エビス電気株式会社

- 本社 広島市中区中町8番8号 ☎730-0037  
TEL(082)247-2115 FAX(082)245-8607
- 本社工務部 広島市中区中町8番8号 6階 ☎730-0037  
TEL(082)240-9922 FAX(082)240-9925
- 可部営業所 広島市安佐北区可部2丁目5番17号 ☎731-0221  
TEL(082)812-3333 FAX(082)814-5241
- 山口営業所 岩国市昭和町3丁目4番10号 ☎740-0004  
TEL(0827)21-7241 FAX(0827)24-4745

いつも社会の  
バックグラウンドで  
光っていたい

## ●● 社会貢献活動 ●●

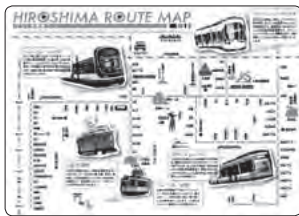
### 税を考える週間パレード



11月11日、広島東間税会の主催する「税を考える週間パレード」に、他の税務協力団体とともに会員11名が消費税の啓発活動の一環で、本通りをパレードしました。

### 租税教育用下敷きの寄贈

市内の小学校4年生、中学校1年生を対象とした租税教育用下敷きを3,600枚作成し、11月20日に寄贈しました。下敷きの寄贈は今回で10回目となります。



### 物品の寄贈

広島市障害福祉部が支援する地域活動支援センターⅢ型事業所「特定非営利活動法人エポケー」にウッドカーペット1式とパソコン1台を寄贈しました。12月24日、市役所で行われた贈呈式には、野坂会長他3名が出席。就労支援製品の製造作業の効率化が図れると、大変に喜んでいただきました。



## 平成27年度税制改正提言 広島市長と地元選出国會議員に提出



野坂会長、長沼副会長、黒木税制委員長が12月8日に、松井広島市長及び碓井広島市議会議長を訪問し、平成27年度の税制改正に関する提言を行いました。

また、12月18日には、地元選出の国会議員、斉藤鉄夫氏の事務所に、提言書を提出しました。

## 新設法人説明会

12月10日、広島商工会議所において、当会と広島西、広島南法人会が合同で新設法人説明会を開催し、「法人をめぐる税務のポイント」と題して、広島西税務署法人課税審理専門官付上席調査官の濱村敏広氏及び戸田美智子氏が説明されました。会員増強期間中につき、各会は入会のしおりを配付し入会をお願いしました。出席者22名。



\* \* \*



## 消費税セミナー

1月27日、広島商工会議所において、広島商工会議所と共催で弁護士・弁理士の南部朋子氏を講師に迎えて消費税セミナーが開催されました。「消費税増税でどう変わる！ 契約・支払い・表示方法」と題して、独占禁止法、下請法、景品表示法等を正しく理解し、健全な経営を行うために何が必要かの説明を受け、大変有意義な研修会となりました。出席者35名。

## ■9月19日 ■オリエンタルホテル広島 第2回青年経営者勉強会

### “進化するウォシュレット” をテーマにTOTOの藪田氏が講演



9月19日、オリエンタルホテル広島にて、第2回青年経営者勉強会を開催致しました。今年6月に公益社団法人発明協会が発表した「戦後日本のイノベーション100選」において、トップ10にランクインした「ウォシュレット」について、「時代と共に進化するウォシュレット」というテーマで、TOTO株式会社 藪田浩二氏にご講演を頂きました。

講演の中で発売当初の懐かしいTVCMを観て当時のインパクトを思い出し大変懐かしく思いました。ところが、実はそのCMが当時はトイレという事もあり、クレームや批判が相次いだそうです。今ではほとんどの人が認識している商品が、当時はまだまだ普及しておらず、現在のように認知されるまでの苦勞を知りました。

更にウォシュレットの進化にまつわるエピソード——従業員に頭を下げて実際に使ってもらい、水の出る角度などを試していたそうですが、当初は女性社員は特に抵抗があり、苦勞されたとの話を聞き驚きました。

今では、全国の約7割の家庭に普及していると言われるウォシュレットの開発秘話や、発売当初の苦勞話など貴重な話を聞く事が出来、大変有意義な講演会でした。

(青年部会研修副委員長 築城隆臣)

## ■11月18日 ■ANAクラウンプラザホテル 広島国税局長講演会

### 演題「税務行政の現状」



11月18日、リーガロイヤルホテル広島におきまして、広島国税局長・大西淳也様に「税務行政の現状」と題しましたご講演をいただきました。

ご講演の内容は——、アベノミクスについてのおさらい。社会の現状については人口減少や高齢化社会といった外部要因に関して。国家財政の現状については債務と歳出の関係や国際的に見た日本の財務状況に関して。中国地方の現状については広島は全国的に平均的な数字を出している県であり、ベンチマークと言えること。税務行政の現状では更なる効率化が求められている、といった内容でそれぞれにグラフなどを使いわかりやすくご講演いただきました。最後に税制改正等についてのお話がありました。

資料は汎用的に準備しているとのことでしたが、日頃からこのような場を想定されてよく考えられた資料であったと思います。全体的にユーモアを交えながらの楽しい約1時間の講演となりました。

外税表示の為に会計時に思ったよりも高くなり、国税局長でありながらも「コノヤロー」と思う、とのお話が印象的でした。ご講演の内容が盛りだくさんであったため、講演会ではお聞きすることができなかった諸々の話題も懇親会で楽しくお話できたのではないかと思います。

(青年部会広報副委員長 小川裕介)



■賞味期限/14日間





広島新銘菓  
**生もみじ**

広島新銘菓「生もみじ」は  
こし餡、粒餡、抹茶の  
三つの味をご用意しています。  
上品な味わいの中に  
それぞれの個性が光っています。

# 今年度12小学校、29クラス、882人を対象に開催 「租税教室」

## 開催校は毎年増加傾向

青年部会の中心的活動のひとつ「租税教室」を今年度も実施しました。

租税教室とは、小学6年生を対象に、青年部会員が講師として教壇に上がり、税金の意義や役割について理解を進める授業を行うものです。今年度は、管内12の小学校29クラス882名に対して開催いたしました。

幸いなことに、各学校のご理解と租税教育活動への関係各所のお力添えをもって、開催校は毎年増加傾向にあります。

さらにうれしいことに、青年部会内部では、新入部会員を含め、租税教室未経験のメンバーが、積極的に講師役や補助役を買って出てくれており、年々、活動の広がりや内容の深化が期待できる雰囲気醸成されてきています。

### 租税教室の開催状況

小学校名	開催日
広島三育学院	7月15日(火)
東 浄	11月26日(水)
安 田	11月28日(金)
白 島	12月1日(月)
尾 長	12月9日(火)
袋 町	12月10日(水)
早稲田	1月9日(金)
大 州	1月15日(木)
戸 坂	1月19日(月)
戸坂城山	1月21日(水)
千 田	1月23日(金)
矢 賀	2月16日(月)



## 租税教育活動のさらなる活発化を

税金は何のためにあるのか、税金の仕組みや使い道といった国の根幹をなす重要な決定はどのようになされるのか、そして健全な納税意識を持つ国民のあり様がいかに大切か——などの要素を詰め込んだ授業を行うのですが、未来を担う小学生に対し、どのような表現で伝えるのがよいか悩みつつ進めます。

実際に各学校を訪問してみると、学校ごとの校風なり、クラスごとの特徴なりも様々。かつ、児童一人ひとりの個性も感じながら授業を行うという経験を通じて、我々青年部会員自身が、納税者としての日常や、経営者としての日常を振り返る契機ともなり、たいへん触発される活動ともなっています。

今後も青年部会では、経験値を高め広げつつ、更なる活発化をもって租税教育活動に資する所存です。

(青年部会組織委員会副委員長 岡本泰彦)



# 税に関する絵はがきコンクール入選作選定



小学校全校に夏休みの宿題として、税に関する絵はがきを募集したところ、昨年を大きく上回る児童（651名）から応募がありました。絵画講師による審査結果、優秀賞10点、入賞10点を選定し、さらに優秀賞の中から、広島東税務署長賞、広島東法人会長賞、女性部会長賞、青年部会長賞を選定しました。12月4日には、早稲田小学校に広島東税務署長と石井女性部会長が訪問して、表彰式を行いました。

優秀賞、入賞の作品は、11月17日から12月19日までの間、もみじ銀行本店、広島銀行本店、フジグラン広島に順次展示されました。



第5回 平成26年度

## 税に関する 絵はがき コンクール

主催：広島東税務署長賞、広島東法人会長賞、女性部会長賞、青年部会長賞

**2015 (平成27年) CALENDAR**

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30	31				

主催 / 公益社団法人広島東法人会 〒730-0012 広島市中区上八丁 3-9 山本ビル 2F TEL 082-223-0179

入選作品で  
カレンダー  
を制作

### 絵はがきコンクール上位入選者一覧表

区分	小学校名	氏名
税務署長賞	早稲田	蛭江日菜実
会長賞	牛田	山崎 京子
女性部会長賞	早稲田	瀬川奈緒子
青年部会長賞	戸坂	松田 碧音
優秀賞	白島	福田 峻太
〃	千田	池田奈々美
〃	戸坂	柴崎 里帆
〃	牛田	岡崎 結
〃	安田	垣内田愛莉
〃	広島三育学院	後藤 祐子



# 青年部会 NEWS

10月29日、ホテルJALシティ広島にて青年部会10月例会が開催されました。「プレ租税教室」と題して、組織委員会・岡本泰彦副委員長が講師となり、実際に小学校で租税教室をしているという設定で、シナリオに沿って授業の進め方の説明を受けました。

まずは自己紹介から始まり、税金の種類、税金の必要性等を小学生に分かりやすく説明、最後は「税金は社会の福祉に大変役立つ」とまとめます。授業全体の時間配分や小学生に手を上げてもらえるような質問をする等、少し工夫をす

■10月29日

## 青年部会10月例会「プレ租税教室」開講

■ホテルJALシティ広島



ることで講義の内容も変わり、小学生に注目してもらえる講義になるようです。

参加者の中から租税教室の担当を募ったところ、何人かの部会員が手を上げられました。また、とにかく未経験者に参加してほしいとの組織委員会・清水委員長から

の要望で、何人か未経験者の参加が決まりました。

租税教室は青年部会の基幹事業と位置づけられています。これからも質の高い租税教室ができるように部会員一同確認した例会となりました。

(部会組織委員 山田英誉)

## 第28回 法人会全国青年の集い「秋田大会」



茨城県連の皆さんと記念撮影



講演する橋本五郎氏

平成26年11月21日「第28回法人会全国青年の集い秋田大会」が、秋田市の秋田県民会館にて開催されました。

昨年の広島大会のお礼を兼ねての訪問となり、当青年部会からは山本部長はじめ総勢16名での参加となりました。広島空港から出

発し羽田空港にて乗換えという長旅でしたが、会場周辺では秋田県の物産展が開催されており、長旅の疲れも忘れさせられるほどの大変な賑わいでした。

大会式典はヴァイオリン演奏から始まりオープニングとなり来賓紹介、主催・主管者紹介、歓迎の言葉、租税教育活動の表彰、秋田大会宣言、租税教育活動表彰、最後に次回開催地の茨城県連からのPRがありました。

続いて行われた記念講演では読売新聞特別編集委員の橋本五郎さんが「リーダーはいかにあるべき

か～ユタカナ国・美しい心をつなぐために～」という演題で講演をされました。ご本人の身の上話等も織り交ぜながら、われわれ若手青年経営者がリーダーとして如何あるべきか！について考えさせられる非常に勉強になるお話でした。

大会式典・記念講演を通して、昨年と同時期に開催された「百万一心」をスローガンに大内大会会長を筆頭に皆で成功させた広島大会を思い出し非常に感慨深いものがありました。

そして青年部の更なる活性化を参加者一同誓い合い、帰路につきました。

(部会異業種交流委員長 渡部宏康)

### 青年部会新入会員

中尾 慶子 並木WINE  
又打 浩彰 (株)キヨカネ  
畑石 顕司 (有)三石  
岩田 明之 岩田不動産(株)





■12月例会・懇親会

「前期高齢者に突入した社長の独り言」  
を演題に 法人会青年部会担当副会長 田中秀和氏が講演



12月17日、オリエンタルホテル広島において、青年部会12月例会・懇親会が開催されました。師走の忙しい中、親会、青年部会OB、女性部会、青年部会から約60名の参加で賑やかに行われました。

今回は、田中電機工業株式会社の田中秀和様に「前期高齢者に突入した社長の独り言」という演題で、ご講演いただきました。

時にユーモアとブラックジョーク？を交えながらの「独り言」は、

65歳を迎えた前期高齢者とは思えないパワフルなもので、1時間で話しきれないほどのボリュームでした。

「経営者がまず目指すべき方向（経営理念）を皆に示し、社員皆のベクトル（方向）を同じにして、強い会社を作る」。社員・幹部に対する膨大な教育資料とその中に記されたさまざまな言葉から、そういった思いが伝承され、田中電機工業の発展の礎になっていると感じられました。

講演会の後、懇親会が行われ、高橋正和氏による占いコーナーもあり、大いに盛り上がった会となりました。

(部会厚生委員 今西研介)

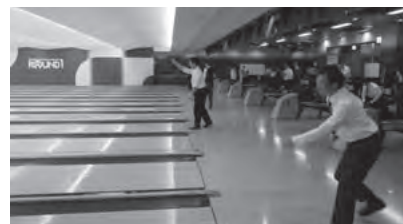
恒例 **ボウリング大会開催**

部会員同士の交流深まる

2月4日、ROUND 1にて青年部ボウリング大会が開催されました。昨年、一昨年を大きく上回る40名の方にご参加いただきました。昨年までの会場から今回は場所を変更し、青年部らしく、若者の聖地【ROUND 1】での開催となりました。

山本部会長の始球式に始まり、2ゲームの熱い戦いが繰り広げられました。1年ぶりにボウリングをするというメンバーも多く、中盤にも差しかかると足腰に疲労が

溜まり始め、日頃の運動不足を痛感する人も少なくなかったように感じました。大会は終始なごやかなムードで経過し、部会員同士の交流を図る非常に有意義な場となりました。



毎年の恒例行事として、来年以降もこのボウリング大会を継続開催出来ればと思っています。

(部会異業種交流委員長 渡部宏康)



ひろしま銘菓 **川通り餅**  
御菓子処 亀屋

# 女性部会 NEWS

9月25日、女性部会第2回定例会が、新山安国寺不動院で開かれた。台風の接近という予報のせいか参加者は11名と少し淋しかったが、充実した時間だった。

安国寺とは足利尊氏が戦乱で命を失った武士を弔う為に諸国に一寺を定めたもので、広い寺地だったが後に戦火で焼けた。その後、秀吉から破格の寺領を受けて復興させたのが安国寺恵瓊である。

例会では、国宝である金堂の修復が終えたので見学をさせていただいた。中世禅宗建築である唐様の最大カラヨウの建物で、山口から移築したという。以前堂内は暗く雑然としていたが、この度入って見ると明るく、整然とされ見違えるような清々しさに満ちていた。

本尊は薬師如来で平安時代の定朝ジョウチョウ様式がうかがわれる。脇侍の日光月光は失われ後方に時代の下がる小ぶりな十二神将が控えておられた。

須彌壇は暗い栗色の漆がかけられ、柵の中程に赤白緑の鮮やかな牡丹唐草の透かし彫りの板が渡してあった。堂内の色はその4色だけ。後はすべて洗い流したような明るい砂色だった。

屋根は柿葺き、サワラ材を割って

## ■第2回例会■

金堂(国宝)の修復を終えた

# 不動院で開催



作る柿は信徒の寄進によるといわれた。

少人数で静かにゆっくりとお参りと観賞ができ明解な説明をされながら案内をして下さった副住職

麻生弘融さまに改めて感謝申し上げたく、私たちも不動院を大切に守ってゆかなければと思った。ありがとうございました。

(部会広報副委員長 伊藤笙子)

## ■第3回例会■

若さと美しさを保つ!楽しい

# ボイストレーニング

ボーカリストで、「ヤマハウェルネスプログラム健康と歌」認定講師の平山三佳先生を迎えて、12月4日、女性部会第3回定例会が開催されました。

まずは、スーソー、ムームー、ハーハー、と吐く息の練習から始まりました。深い呼吸は、脳を刺激し、脳細胞を活性化しま

す。美しい姿勢で椅子に座るためには、骨盤を立てるように、少し浅めに腰をかけること。

次に、両手を胸の真中から空に向かって大きく伸ばす。十分なウォーミングアップの後、全員で大きな声を出しました。

仕上げは、「恋の季節」を歌ってダンスタイムとなり、ラストの決めポーズもばっちり!!

5歳は若返ったかしらと言いながら、その後の懇親会も会話がはずみ、楽しい時間となりました。

(部会顧問理事 山内五十鈴)



# 山陽空調工業株式会社

Sanyo Kucho Kogyo Co.,LTD

■本社

広島市南区大須賀町19-13

TEL (082) 262-2351



## 研修旅行

瀬戸内海の芸術の島  
「直島」の不思議を探る



10月23日、研修委員会企画の岡山県宇野港沖の直島見学ツアーが開催されました。参加人数28名で、県庁前に8時に集合し、バスに乗り込み出発しました。

直島は近隣に位置しながら、私たちには馴染みの無い地名ですが、海外では日本の推奨観光地ベスト10に入るほどの有名な島で、直島発のフェリーには多くの海外からの旅行者が乗船していました。今回はその謎を探る研修でした。

まずは現代アートの美術館であるベネッセハウスを訪問。眼下に広がる多島美溢れる瀬戸内の景観と打ち放しコンクリートに囲まれた同ハウス内のレストランで、昼食(和食)を堪能しました。この美術館の展示物は、作家を島に宿泊させ、瀬戸内を感じながら制作してもらったもので、現代アートが持つ独特の難解な雰囲気はなく、自然にアートの雰囲気に入り込むことが出来ました。

次に訪問したのが、地中美術館。この建物は世界的に有名な建築家・安藤忠雄の代表作の一つです。外の風景とは全く違う芸術の空間が、人間が本来持っている美の心を感じさせました。

他にも、草間彌生のオブジェや家プロジェクト等々、日帰りではたんに出来なほど多数の芸術作品があり、島全体で訪れる者の感性に芸術を訴えている……そんな島でした。

また行きたい。次回行くときは、泊りで行きたい……そう思わせる「直島」でした。

(研修委員長 徳納 剛)



## テーブルマナー研修

ボージョレ・ヌーヴォー  
を楽しみながら



### “食べる”をよりスマートに

11月27日18時からアークホテル広島にて『テーブルマナー研修～ボージョレ・ヌーヴォーを楽しみながら「食べる」をよりスマートに～』が開催されました。

講師には現在中区三川町にあるカフェ「M2」(エムエム)のオーナーであり、各地で料理教室も展開されている宮崎様にお越し頂きました。

「テーブルマナー研修」ということで、堅苦しくかじこまったイメージがあり、不安の中スタートしました。最初のうちは「マナー」を意識し過ぎてしまい、失敗する場面もありました。

しかし、研修が進められていくうちに、おいしい料理と宮崎様の軽妙なトークによって、食事に集中するだけでなく、なごやかな雰囲気でも話も料理も楽しめました。

マナーは格式ばったものではなく、楽しく食事をとるためのものであり、本質は、「食事に関わる全ての方への思いやりなのだ」ということを知ることが出来、大変勉強になりました。

宮崎様、アークホテルの皆様、ご同席頂いた皆様、ありがとうございました。

(株式会社サンネット 北川知美)

